

出前授業「探求～ビオトープ復活作戦～」授業実施例

実施校：緑丘小学校 3年生1組、2組の2クラス

授業実施日：2020年7月29日（月曜日）2時間目（9時40分～10時25分）3年2組

3時間目（10時35分～11時20分）3年1組

講師：下山 孝氏（環境省登録 環境カウンセラー）<http://u0u1.net/VYub>

単元：小学3年生 総合学習 「ビオトープ復活大作戦」

授業概要：

時間	流れ	内容
5分	講師自己紹介	講師の自己紹介と講師が登録している環境カウンセラーというお仕事の内容を簡単にお話します。
10分	ビオトープ大作戦の準備	皆さんのお手紙でとても大切と感じたこと。 <ul style="list-style-type: none"> ・虫が好きな子も苦手な子も<u>みんなで力を合わせて</u>ビオトープ大作戦と一緒に取り組みたいという事。 ビオトープとは？なんでしょう？ <ul style="list-style-type: none"> ・「いきもの」がいっぱいいる所。 ・前からいる生きものや植物、後から来たいきものや植物 ・ビオトープは周辺地域や世界に続く「まど」
20分	何がいるのか探そう	今のビオトープにどんな生きものがいるのか調べます。 池田市環境政策課からお借りした、たも網をつかってビオトープの池部分の底の土をさらい、たも網にどんないきものがいるのか探しました。 →自分で探して見つけ（知る）、わからない事を自分で、みんなで、調べて考えてみます。 下山先生にも確かめます。
10分	今日分かったことをまとめます 下山先生への質問	思ったほど、多くのいきものがいない事がわかりました。 <u>今日わかったこと、わからなかった事をみんなで共有</u> します。 どうすれば、ビオトープを復活できるのかこれからみんなで考えることにします。 <ul style="list-style-type: none"> ・どうすれば、楽しいビオトープになるんだろう？ ・生きものが増えるにはどうすればいいのだろうか？ ・ここで生きやすいいきものはなんだろう？ 下山先生からの提案 ①継続的に、大作戦を進めることが大切。 ②「なぜ、かな、でも、きっと」とあきらめずに考える事を繰り返す。 ③わからない事は良いこと。勉強すればするほどわからない事が多くなり、その都度調べ自分の頭で考えるから理解が深まる。 →授業終了後、各担当の先生の方でまとめの授業をしていただきました。

1. 講師自己紹介、ビオトープ大作戦の準備



2. 何がいるのか探そう

たも網で池の底をすくいます。



たも網のない子どもたちは、ビオトープ再生のために、みんなのできることをしました。

[スコップで泥をすくいます]



[草が多いので手で引き抜きます]



いきものが見つかりました。



3. 今日分かったことをまとめます、下山先生への質問



[授業のポイント]

- ・教えてもらったことだけでなく、自分で探して、見て、調べて、知る事です。
- ・わからないは、気にしない。わからないことを知る事が勉強です。→自分の力を見出すことがポイントです。
- ・一人がわかるのではなく、みんながわかること。→SDG s の基本的な理念です。
- ・ビオトープは、地域や広い世界の生態系のつながりを考えることができる学校の中から見ると窓です。
- ・ビオトープの再生は、子供たちや教員だけでなく様々な人たちが関わり問題を解決していく事が大事です。
- ・ビオトープの再生は、長い時間をかけていく世代にわたって関わる事が大事です。

以上